

大谷公園 花壇づくり講習会

【講習会開催日】 令和 6 年 12 月 16 日

【場所】 大谷公園 （西区）

【現在の花壇の問題点】

- ・ 参加人数が比較的少人数のため、水やり、除草等の作業が大変
- ・ 宿根草のお手入れ方法を知りたい
- ・ 近年の記録的猛暑のため、夏場の水やりの負担が大きい

【問題点の解決方法】

- ・ 花壇の一部を宿根草花壇にして手入れをする範囲を減らす
- ・ バーク堆肥を使用したマルチングによる雑草対策を講じる
- ・ 今後の花壇管理の参考になるよう宿根草のお手入れ方法を学ぶ

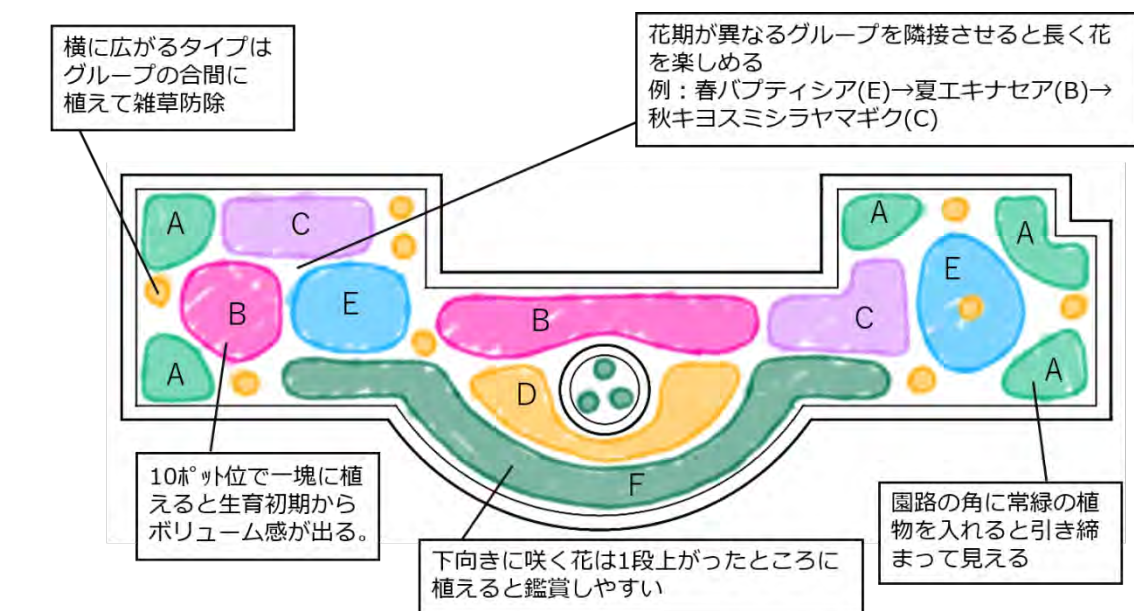
【植物の選び方】

- ・ 花壇の環境やテーマに合う宿根草・多年草をリストアップする。特に日当りや水はけは植物の生長に直結するので植える前に図鑑などで良く調べておく和良好的。
- ・ 背の低い植物、背の高い植物をバランスよく選ぶとより立体感のある風景になる。
- ・ 冬は花が少なくなってしまうので冬の姿を優先的に考えると 1 年を通して見栄えの良い花壇になる。
- ・ リストアップした植物の絞り込み：5 種類以内でシンプルなデザインを目指す。
 - (1) 常緑の植物を 1 種類以上選ぶ
 - (2) 花壇の主役となる、花が咲く植物を 1～2 種類選ぶ
 - (3) グラス・シダ類を 1 種類以上選ぶ
 - (4) 残りの植物を検討(形重視)：多様な葉の形が見られるようにする。

【花壇のデザイン】

- ・ 同じ種類の宿根草を 3～10 ポットまとめて 1 つのグループとして配置する。1 ポットずつ散らして植えると雑草と間違って抜いてしまったり、隣接する植物と生長を妨げあったりしてしまう場合がある。
- ・ 長く花を楽しめるように花期が異なるグループを隣接させる
- ・ 横に広がるタイプはグループの合間に植えるとグループの植物を引き立たせ、かつ、雑草防除として機能する。
- ・ 花苗を花壇に仮置きしたら、遠くから花壇全体を眺めてバランスを調整する。植栽時は小さい苗でも数年後大株になることを想像して苗同士を近づけすぎない。

【植栽図】



記号	植物名	数量
A	ノシラン ビッタータス	22ポット
B	エキナセア プルプレア	27ポット
C	キョスミシラヤマギク	22ポット
D	ネベタ キャットミント	16ポット
E	バプティシア	6株
F	クリスマスローズ	24ポット

【水やりの仕方】

- ・ 植える前 ： 枯葉や花殻は無いのか、水切れを起こしていないかを確認する。事前にポットに水やりをしておくと、植え付け後の生長も良くなる。
- ・ 植える時 ： 土に水がしっかり染み渡るように 1 株 10 秒を目安に水やりをする。また、花より下の位置で水やりをして土に水が行き渡るようにするとよい。
- ・ 植えた後 ： 植え付け直後は定期的に水やりするが、根付いたら水やりは最低限(葉の萎れ始めが目安)にすることで根の伸長を促す。

【マルチングについて】

マルチングはバーク堆肥、腐葉土、砂利、刈った草を細かく切ったもの等を用いる。地上と地面の間に空気の層を作り、霜よけや地温の上昇を抑えたり、地表への光を遮断して埋土種子の発芽防止や乾燥、雨による土の浸食を抑える効果がある。

施す時は土が見えなくなる程度(3 cm厚)が目安だが植えた植物が埋まらないように注意する。

【宿根草のお手入れ】

植物はお手入れをすればするだけ応えてくれるが、それが負担になっては本末転倒。花壇の見栄えと自分たちのできる範囲を見極めながら無理のないお手入れを目指す。

1.やりたいことをリストアップ

花壇全体を観察して、「一番気になるところ」を挙げていく。

例：雑草が気になる、花殻が汚い、丈が伸びて通行の邪魔になる、土が乾いている 等

2.優先順位を決める

「一番気になるところ」と、その日の作業人数や作業時間を加味してどこからどんなお手入れしていくかメンバーで共有する。

主な作業：除草・花殻摘み・切り戻し・間引き・移植など

水やり・施肥→どうしても必要な時だけやる作業

3.優先順位を基にお手入れする。

作業ごとに時間を決めたり、担当を分けたりするとお手入れに集中できる。

時間が足りなかった、お手入れしきれなかったところは次回へ引き継いで、自分たちのできる範囲を見極めながら無理のないお手入れを目指す。

大谷公園 ナチュラルガーデン年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
 クリスマスローズ(ヘレボレス) •区分 : 常緑 •日当たり : 半日陰～日陰 •草丈 : 30cm •花期 : 2～4月 •花色 : 桃・白・紫・緑	 花殻摘み						 黒くなった葉を切る			開花 		
 ノシラン ビッタータス •区分 : 常緑 •日当たり : 日向～半日陰 •草丈 : 20～30cm •花期 : 7～9月 •花色 : 白	鑑賞時期 											
 ネベタ(キャットミント) •区分 : 半落葉 •日当たり : 日向～半日陰 •草丈 : 40～70cm •花期 : 7～10月 •花色 : 紫		開花 	 ひと周り小さくなるように剪定								 ひと周り小さくなるように剪定	
 バプティシア(既存) •区分 : 落葉 •日当たり : 日向 •草丈 : 80～120cm •花期 : 5～6月 •花色 : 青・白・黄	開花 					実の鑑賞時期		 刈り取り				
 エキナセア •区分 : 半落葉 •日当たり : 日向 •草丈 : 50～80cm •花期 : 6～10月 •花色 : 桃・白		開花 	 花殻摘み					実の鑑賞時期			 刈り取り	
 キヨスミシラヤマギク •区分 : 落葉 •日当たり : 日向～半日陰 •草丈 : 40～100cm •花期 : 10～11月 •花色 : 薄紫						開花 					 ひと周り小さくなるように剪定	



花壇づくり講習会

西区 大谷公園

事前調査(令和6年10月8日)

現状は1年草花壇が良好に管理されていました。

周囲にイチョウの高木があるものの花壇の日当りは良好。



講習前(令和6年12月16日)

4か所ある1年草花壇のうち1か所を宿根草花壇にする。講習前にバーク堆肥・ぼかし肥を混ぜ、20～30cm耕運した状態。

ほぐすことで根の呼吸や水・肥料の吸収がし易くなる。



講習後(令和6年12月16日)

宿根草を植えつけ、マルチング・水やりが完了した状態。冬場は花苗も落葉しているが、春以降は新芽が展開し花壇らしくなっていく予定。



花壇づくり講習会

西区 大谷公園

宿根草の配置

同じ種類の宿根草を3～10ポットまとめて1つのグループとして配置する。まとめて植えることで雑草と間違えて抜いてしまったりするのを防げる。予め石灰を使って植える位置を描くと配置しやすい。



宿根草の配置

配置が終わったら花壇全体を眺めてバランスを調整する。植栽時は小さい苗でも大株になる植物は生長後の姿を思い描くと良い。苗同士の間隔は十分か、背の高い植物が低い植物を覆ってしまわないか、よく確認する。



宿根草の植え付け

植え付けの際はポット苗の地表と、地面の高さが同じになるように植える。浅いと根が乾燥したり、深すぎると根が酸欠になり生育に悪影響が出る。ポリポットを外した際、土が見えないくらい根が回っていたらほぐしてやると良い。



花壇づくり講習会 西区 大谷公園

マルチング

マルチングには霜対策、雑草防除、乾燥防止などの効果が期待される。特に冬場は霜対策と乾燥防止を目的とする。



マルチング

講習では”はまっ子ユーキ”を使用した。花壇のマルチングには有機物マルチが効果的でバーク堆肥の他、腐葉土、落葉、刈った草を細かく切ったもの等を使うことが多い。



マルチング

マルチングは風で飛ばされたりすることを考慮すると3cm厚程度、少なくとも地表が隠れるくらい敷くと良い。



花壇づくり講習会 西区 大谷公園

水やり

土に水がしっかり染み渡るように1株10秒を目安に水やりをする。また、花より下の位置で水やりをして土に水が行き渡るようにするとよい。



宿根草のお手入れ

宿根草はローメンテナンスとはいえ、放置して良いというわけではない。季節ごとのお手入れ方法を知るとともに、自分たちの無理のない管理計画を立てるのが大事になってくる。



宿根草花壇の完成

ありがとうございました。



花壇づくり講習会
西区 大谷公園

材料搬入状況



既存植栽掘上げ状況

本来、日向が好きなバプティシアですが、園内の日陰のところに植わっていた。本講習で日向のエリアに移植する。



マルチング材 ハマっ子ユーキ(バーク堆肥)

堆肥“はまっ子ユーキ”は横浜市内の公園緑地や街路樹などの剪定枝や刈草を原料とし「緑のリサイクルシステム」により出来た堆肥。



花壇づくり講習会

西区 大谷公園

使用材料

ノシラン ビッタータス

・区分 : 常緑

・日当たり: 日向～半日陰

・草丈 : 20～30cm

・花期 : 7～9月

・花色 : 白

白い斑の葉が美しい。生長も緩やかで花壇の根締めによく使われる。



ネペタ(キャットミント)

・区分 : 半落葉

・日当たり: 日向～半日陰

・草丈 : 40～70cm

・花期 : 7～10月

花色 : 紫

やせた土でも育ち、こんもりと半球状に育つ。枝葉も密につくのでグランドカバーとして重宝される。梅雨の蒸れに弱いので梅雨前に剪定すると良い。



クリスマスローズ(ヘレボレス)

・区分 : 常緑

・日当たり: 半日陰～日陰

・草丈 : 30cm

・花期 : 2～4月

花色 : 桃・白・紫・緑

冬場に花の楽しめる数少ない宿根草の一つ。半日かげを好み日差しが強いと葉が黒く痛みがちになる。花の咲く時期に古葉を切ってやると花が際立って鑑賞しやすい。



花壇づくり講習会

西区 大谷公園

キヨスミシラヤマギク

・区分 : 落葉

・日当たり: 日向～半日陰

・草丈 : 40～100cm

・花期 : 10～11月

・花色 : 薄紫

秋咲きの野菊の1種。楚々とした雰囲気美しく、花期が遅いので晩秋まで楽しめる。冬は地上部が枯れるので春先に地際で切り戻すと良い。



エキナセア

・区分 : 半落葉

・日当たり: 日向

・草丈 : 50～80cm

・花期 : 6～10月

花色 : 桃・白

花の中心部がクリのイガのように球状に大きく盛り上がり、そのまわりに細長い花弁が放射状に広がる。花期が長く、花後も種が残リドライフラワーとして鑑賞できる。

*写真は冬の落葉時の状態



バプティシア(既存)

・区分 : 落葉

・日当たり: 日向

・草丈 : 80～120cm

・花期 : 5～6月

花色 : 青・白・黄

マメ科の宿根草で初夏から夏にかけて鮮やかな青色の小さな花をたくさん咲かせる。

種も特徴的でドライフラワーとしても利用される。

冬は地上部が枯れるので春先に地際で切り戻すと良い。